

# 「文化財の保存環境を考慮した博物館の省エネ化」に関する研究会

## —博物館・美術館におけるエネルギー削減—

平成 23 年 3 月 11 日の地震津波等による福島第一原発の事故を発端に、平成 23 年夏には、電気事業法第 27 条による電気の使用制限が行われ、東京電力及び東北電力並びにその供給区域内で供給している特定規模電気事業者と直接、需給契約を締結している大口需要家(契約電力 500kW 以上)に対して、以下の期間において原則、「昨年の上記期間・時間帯における使用最大電力の値(1 時間単位)」の 15%削減した値が使用電力の上限となりました。

東京電力管内：平成 23 年 7 月 1 日～9 月 22 日(平日)の 9 時から 20 時

東北電力管内：平成 23 年 7 月 1 日～9 月 9 日(平日)の 9 時から 20 時

その他の地域でも、エネルギー削減要求があったとのこと。

博物館美術館にとって、文化財を保存する機関であり、この節電要請をどのように乗り切ったのか、その結果どのような問題があったのか、この時点で情報を集約し、検証することはたいそう重要です。また昨年夏の節電対策を契機に、美術館の展示室や収蔵庫の温湿度設定について再考する動きが出てきています。

今回の研究会では、まずどのような智恵で昨年夏の節電を乗り切ったのか明らかにするとともに、どのような方策がより有効なのか、議論をする場にしたいと思います。

平成 24 年 2 月 17 日(金) 場所：東京文化財研究所 地下セミナー室

1. 13:30～13:50

美術館・博物館 2011 年夏の節電対策のアンケート結果

佐野 千絵(東京文化財研究所)

2. 14:00～14:50

美術館における温度湿度設定の考え方 —全国美術館会議における取り組みも含めて—

福永 治(国立新美術館)

国立新美術館における取り組み

長屋 光枝(国立新美術館)

3. 15:00～15:30

文化財保存のための温度湿度設定に対する海外の現在の動きと方向性について

石崎 武志(東京文化財研究所)

4. 15:40～16:30

オフィスビルにおける最新省エネ技術

松尾 隆士(清水建設株式会社技術研究所)

5. 16:45～17:15 意見交換

(この研究会に関する問い合わせ先)

佐野千絵 電話 03-3823-4873 F A X 03-3822-3247 mail sano@tobunken.go.jp